現代短歌分類辞典

第八十八巻

津　端　　亨編纂

津端　亨　編纂

現代短歌分類辞典

第八十八巻

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

現代短歌分類辞典

88

昭和五十八年十一月三日発行
定価 二、〇〇〇円

著者発行兼印刷者 津端亨

〒111
東京都台東区鳥越一―十一―八
発行所 現代短歌分類辞典刊行所
代表 津端亨
振替 東京 三―九三一一四番
電話 〇三(八五一)九八六九番

目次

（第八十八巻）

	歌数	頁数
いとまどき	一	一
いとまーなからーむ	一	〃
いとまーなかりーき	五	〃
いとまーなかりーけるーかも	三	〃
いとまーなき	七〇	二
いとまーなきーかな	一	八
いとまーなきーごとく	一	〃
いとまーなきーに	一	〃
いとまーなきーまでーに	一	〃
いとまーなきーや	一	〃
いとまーなく	二八	九
いとまーなくーて	三	一二
いとまーなくーとも	二	〃
いとまーなけれーば	三	一三
いとまーなさ	二	一三
いとまーなし	三三	〃
いとまーなしーてふ	一	一五
いとまーなしーと	二	〃
いとまーなしーとも	一	〃
いとまーなーの	二	一六
いとまーなーみ	一四	〃
糸満の浦		
いどまーむ	五	〃
いどまーれーし	一	一七
いどまれーて	一	一八
糸　満	一	〃
いどまん	二	〃
いどまんーと	二	一九

いどみ（名詞）　二　一九
いどみ（動詞）　八　〃
いどみ―あひ―つつ　一　二〇
いどみ―あふ　一　〃
いどみ―いどみ―て　一　〃
いどみ―いどめ―る　一　〃
いどみ―かかつ―て　一　二一
いどみ―かかり―て　一　〃
いどみ―かかる　三　〃
いどみ―かかれ―る　三　〃
いどみ―き　一　二三
いどみ―き―て　一　〃
いどみ―くる　一　〃
いどみ―こ―し　一　二三
いどみ―こ―ず　一　〃
いとみ―し　一　〃
糸道　一　〃

いどみ―つ　二　二四
いどみ―つつ　四　〃
いどみ―て　四　〃
いどみ―ぬ　一　二五
いとみみず　一　〃
いどみゆく　一　〃
いどみ―より　三　〃
いどむ（終止形）　一九　二六
いどむ（連体形）　三三　二八
いどむ―か　一　三〇
いどむ―が　九　三一
いどむ―がに　一　〃
いどむ―ごと　一　三三
いどむ―ごとく―に　一　〃
いどむ―な　一　〃
いどむ―なら―ず　一　〃
いどむ―なり　一　〃

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

いどむ―に　一　三二
いどむ―や　二　三三　〃
いどむる　一　〃
い利目　一　〃
糸　目　九　〃
いとめ―し　一　三四
いどめ―ども　一　〃
いどめ―り　一　〃
いどめ―る　四　三　〃
いとも　八八　〃
糸　屋　二　四三
糸椰子　二　〃
糸　柳　一四　〃
糸　遊　四　四五
イトラン　一　〃
イートン　一　〃
伊奈・伊那　三四　〃

い　な　一　四八
鯔（いな）　七　四九
いな（否）　七三　〃
い―ない　一　五六
いな―いな　二五　〃
いな―いな―と　五　五八
いな―いな―と―し―も　一　〃
いなう　一　五九
いなおうなく　一　〃
黄鶺鴒　一　〃
稲負鳥　一　〃
稲　香　一　〃
稲　架　四　六〇
稲　垣　二　〃
稲　掛　六　〃
稲　風　二　六一
いな―か　一八　〃

いな―か―と　五　六三
いな―か―と―て　一　〃
否―か―と―も　一　六四
否―か―は　二　〃
稲　株　六　〃
稲　殻　三　六五
いながり　三　〃
否―か―を　二　〃
稲　城　三四　六六
い―鳴き　一　六九
稲黄色　一　〃
いなぎこし　一　〃
稲黄原　一　〃
い鳴き―をり　一　〃
稲　茎　一八　〃
稲螟虫　一　七一
稲　草　四　〃

稲　杭　一　七二
稲　車　一　〃
伊奈郡智里　一　〃
稲　倉　一　〃
稲　毛　二　七三
い―鳴け―る　一　〃
蝗（いなご）　一三〇　〃
蝗子売　二　八三
稲扱（いなこき）　一八　〃
稲扱機　三　八五
稲扱機械　四　〃
稲子峠　一　八六
稲奈駒が丘　一　〃
稲子磨・蝗磨　九　〃
蝗子ら　二　八七
東南風（いなさ）　二一　〃
稲　佐　四　八九

東南風（いなさかぜ）　一　九〇
稲棚（いなさく）　一　〃
稲　作　三　〃
引佐郡（いなさぐん）　一　〃
伊奈佐小浜　一　〃
稲佐山上　一　九一
いなさ―で　一　〃
稲佐嶺　一　〃
稲佐の君　一　〃
稲佐の浜　二　〃
稲佐の山　二　九二
引佐細江　八　〃
稲佐山　二　九三
いなさ―れ―ず　一　〃
稲佐少女　一　〃
いなし―がたかり　一　〃
稲　敷　二　〃

いなし―し　一　九四
いなし―たり　一　〃
いなし―たる　一　〃
いな―しめ―し　二　〃
いな―しめ―て　一　九五
いな―しめ―に―けり　一　〃
稲　代　一　〃
いなす　一　〃
いな―ず　五　〃
稲　雀　四　九六
いなずみの湯　一　〃
稲住山　一　九七
いなすれ指　一　〃
稲瀬川　二　〃
いな―せ―し　二　〃
いな―せ―たる　一　〃
いなせ―つ　一　九八

いなせ―と　一　九八
いなせをとこ　一　〃
稲　田（地名）　一　〃
稲　田　三一六
いなだ（魚）　一　一二五
稲田明り　一　〃
稲田畦道　一　〃
黄稲田家群　一　〃
稲田駅　一　一二六
稲田悦子　二　〃
稲田郷　一　〃
いなだきの山　一　〃
稲田君　一　〃
稲田堤　一　〃
稲田越し　一　一二七
稲田中　一　〃
伊那谷　一五　一二八

稲田登戸　二　一二八
稲　束　八　一二九
稲田原　五　〃
稲田広原　一　一三〇
伊那平　一　〃
稲田道　三　〃
否ちふ　一　一三一
稲　塚　六　〃
稲付馬　一　〃
稲　妻　三〇二　一三二
稲妻型　四　一五七
いなづまし　三　〃
いなづます　三　一五八
いなずまする　一　〃
稲妻男　一　〃
イナデータ　一　〃
否―と　四八　一五九

否ーとーし　二　一六三
否ーとーに　一　〃
いなーとーは　四　〃
否ーとーふーを　一　一六四
否ーとーも　七　〃
否ーとーよ　一　一六五
稲　取　二　〃
糸採歌　一　〃
いなーな　二　〃
いなかーず　四　一六六
いなかーぬ　一　〃
いなかーば　一　〃
噺き（名詞）　三一　一六七
いなき（動詞）　一　一六九
いなき（連用形）　一　〃
いなきーあへーり　一　〃
いなきーかくる　四　一七〇
いなきーかはし　二　一七〇
いなきーかはす　一　〃
いなきーし　三　〃
いなきーたれーば　一　一七一
いなきーつつ　一　〃
いなきーて　七　〃
いなきーながら　一　一七二
いなきーにーけり　一〇　〃
いなきーぬ　三　一七三
いなきーぬーべーし　一　〃
いなきーよらーむ　一　〃
いなく（終止形）　一五　一七四
いなく（連体形）　三七　一七五
いなけーば　一　一七八
いなけーり　七　〃
いなけーる　二　一七九
いなーなむ　一　〃

稲鳩（いなにほ）　三　一七九
いな―ぬ―かな　一　一八〇
稲　野　一　〃
印南野　一　〃
いなの子　一　〃
伊那の里　一　〃
稲の瀬川　一　一八一
伊那の谷　六　〃
伊那の町　一　〃
いなのめ（黎明）　一二　一八二
否―は　一　〃
稲　葉　四八　一八三
因幡（いなば）　二七　一八七
因幡（人名）　一　一九〇
いな―ば　四　一九一
稲　葉　四　〃
稲架（いなはき）　一　一九二

稲葉郡　一　一九二
稲架（いなはざ）　三　〃
いなはぜ　一　〃
因幡路　一　〃
因幡の国　三　一九三
伊奈波の山　二　〃
因幡人　一　〃
いな―ばや　二　〃
伊奈波山　五　一九四
稲　原　一八　〃
稲原日和　一　一九六
稲　番　四　〃
稲番小舎　一　〃
稲光り　二八　〃
いなびかりし―つ　一　一九九
いなびかりし―て　二　〃
いなびかりす―も　四　〃

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

いなびかりする　二　二〇〇
いなびかりせーり　一　〃
稲氷命　一　〃
いなびーはうむらーる　一　〃
いなびーまつりーき　一　〃
稲日和　一　二〇一
稲　生　四　〃
稲生（地名）　三　〃
いなふさ山　一　二〇二
伊奈節　一　〃
稲　舟　二　〃
稲　叢　一　〃
稲振り　一　二〇三
稲　穂　六八　〃
禾秀（いなほ）　二　二〇九
稲ほこり　一　〃
いなほし　一　〃

稲穂明り　一　二〇九
稲穂田　二　〃
稲ぼつち　一　二一〇
稲穂波　五　〃
いなーまく　二　〃
いなまーざりーし　一　二一一
いなまーざる　一　〃
いなーまし　四　〃
いなまーじーよ　一　〃
いなまーず　五　二一二
いなーまほしけれ　一　〃
いなまーむ　二　〃
いなまーむーと　一　〃
いなまーれーて　一　二一三
いなまーれーぬ　一　〃
印南（いなみ）　一　〃
いなみ　三　〃

東南風（いなみ）　一　二一三
いなみあやぐも　一　二一四
いなみ―いなみ―て　一　〃
いなみ―がたく―ば　一　〃
いなみ―がたし　一　〃
印南片瀬　一　〃
いなみ―がたなく　一　二一五
いなみ―かね―つつ　一　〃
印南河上　一　〃
印南国原　一　〃
いなみ―ける　一　〃
いなみ―し　一　二一六
いなみ―たまは―じ　一　〃
いなみ―たる　一　二一七
いなみつま　一　〃
いなみ―て　一　〃
いなみ―ながら　一　〃

いなみ―なむ　一　二一八
印南野（いなみぬ）　二　〃
いなみ―ぬ　一　〃
印南野（いなみの）　八　〃
印南の海　一　二一九
印南広原　一　〃
印南麦生　一　〃
印南山　一　〃
いなみ―をり　一　二三〇
いな―む　七　〃
いなむ　一五　〃
いな―む（終止形）　三七　二三一
㋕いな―む　二　二三五
否む―か　二　〃
否む―ごとし　一　〃
稲　蟲　一　二三六
稲むしろ　二　〃

いなーむーと　二三　二三八
いなーむーとーぞ　三　〃
いなーむーとーて　二　〃
いなーむーとーは　一　二三九
否むーとも　一　〃
否むーとーや　一　〃
いなむーなり　一　〃
否むーに　一　〃
いなむーべからーず　一　二三〇
いなむーべき　一　〃
いなむーまじかる　一　〃
稲　村　一三　〃
稲村ケ崎　七　二三一
いなーめ　二　二三二
いなめーず　二　〃
いなめーぬ　三　二三三
いなめーよう　一　〃

いなめーり　一　二三三
いなめーる　二　〃
否ーも　九　二三四
稲森（人の名）　一一　〃
いなや　六八　二三五
否ーやーと　三　二四一
否ーやーに　三　二四二
否ーやーにーて　一　〃
否ーやーの　一　〃
否ーやーは　二　〃
伊那山　一　二四三
伊那山脈　一　〃
否よ　一　〃
いーならび　二　〃
いーならびーたまふ　一　〃
いーならびーて　六　二四四
いーならぶ　五　〃

いーならべーる　二　二四五
稲　荷　一四　〃
稲荷川　二　二四六
稲荷狐　一　二四七
稲荷大鼓　一　〃
稲荷の子　一　〃
稲荷の宮　二　〃
稲荷の森　一　〃
稲荷の山　二　〃
稲荷祭　四　二四八
稲荷参り　一　〃
稲荷明神　一　〃
稲荷山　八　二四九
いなーれーぬ　二　〃
稲　藁　一　二五〇
いなーを　二　〃
稲岡君　一　〃

否ーをーかも　四　二五〇
伊那乙女　一　二五一
伊那乙女ら　一　〃
以　南　一　〃
いなーん　一二　〃
去に　一　二五二
いにーがたし　一　〃
いにーがたみ　一　二五三
いにーがて　三　〃
いにーがてーぬ　一　〃
いにーき　四　〃
いにーけむ（終止形）　三　二五四
いにーけむ（連体形）　三　〃
いにーけらし　一　〃
いにーけり　一三　二五六
寝ーにーけり　三　〃
寝ーにーける　一　〃

射―に―ける　一　二五六
去に―ける　一二　〃
いに―けれ　二　二五七
いに―けん　一　二五八
いに―し　一〇八　〃
逝に―し　三　二六七
いに―しか―ど　一　〃
いにしへ（古）　一三八五　二六八

合計　三、九八三首

いとまどき【名詞】

暑き日のゆふぐれ方のいとまどき浴堂にのぼる僧のつらなり④　中村憲吉

いとまーなからーむ【名詞・形容詞・助動詞】

乳呑児の泣きしきるなりこの家も上蔟蚕(あがりこ)にしていとまなからむ（背振）　中島哀浪

いとまーなかりーき【名詞・形容詞・助動詞】

秋ふけし深山のかこふ中禅寺湖の水際に行かむいとまなかりき　高田浪吉

雁(かりがね)のたかくわたるを見てもどり凭りし机にいとまなかりき　山本友一

夏山のうへに起き臥しともどもに須臾も怠るいとまなかりき①　鹿児島壽藏

みどりごよりわが妹を育て呉れしことも思はむいとまなかりき　柴生田稔

雪に立てる南蛮鉄の灯籠をわきて尊ぶいとまなかりき⑨　斎藤茂吉

いとまーなかりーけるーかも【名詞・形容詞・助動詞・助詞】

冬外套ぬすまれしことも身に沁みて感ぜぬはいとまなかりけるかも①　山口茂吉

いとまどき

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com